

# 社会福祉法人自生園 環境行動計画

平成21年8月26日

## 取組方針

社会福祉法人自生園は、『自から生きることを思い 自から活かされてあることを知って 自他の幸せを願いながら お互いの幸せのために行動する 人と人の絆を大切にすること それが私たちの仕事です』を基本理念とし地域福祉を展開する公益法人です。

わたしたちは未来の子供たちのために、地球温暖化を止め、持続可能な循環型社会に変革していく活動をしてまいります。その第一歩として以下の取り組みを行います。

- ① 省エネ、自然エネルギーへの転換による排出二酸化炭素の削減
- ② 廃棄物の排出量把握と排出量削減
- ③ 紙の使用量把握と使用量の削減（紙についてはリサイクル）
- ④ 地域の環境保全と環境教育の推進

この方針にそって、全ての職員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、職員一丸となって取り組みを推進します。

平成21年8月26日

社会福祉法人 自生園

理事長 木崎 馨山

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標—1	二酸化炭素の排出量を、2008年を基準として2018年までに50%削減する。 (2010年度迄に全体で15%削減)
具体的な取組	設備更新の中長期計画策定 ペレットボイラー・ペレットストーブの整備 ヒートポンプ給湯器の設置 太陽光発電パネルの設置 インバーター制御式エレベーターの設置 自動販売機の節電の工夫 不要のアイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける unnecessary照明、空調、パソコン電源等をこまめに消す 冷蔵庫の年式・能力調査 地産地消推進による、輸送 Co2 の削減

目標—2	廃棄物の排出量を数値化し、削減目標を設定する。 2008年度を基準として一般廃棄物については2010年度迄に5%削減
具体的な取組	一般廃棄物の種別ごとの排出量の把握 一般廃棄物のリサイクル・リユースに努める 医療廃棄物の種別ごとの排出量の把握を行うとともに、今後とも適正な排出の実施。 生ごみの堆肥化による、排出量の削減 オムツの効果的使用による、排出量の削減 ファイル、フォルダーなどの製品は、繰り返し長期間使用する 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する

目標—3	紙の使用量把握と使用量の削減 2008年度を基準として2010年度迄に5%削減
具体的な取組	社内資料は、両面コピー、裏紙利用に努める 社内印刷物の要不要の再確認 再生紙の使用を推進する

目標—4	地域の方々への環境啓蒙活動の実施と職員の意識向上
具体的な取組	自然体験教室の開催 職員個々の取り組み意識の向上（個人の課題の設定） 職員への環境学習会の開催 環境出前講座の実施 環境活動委員会の設置の検討

■ 環境行動計画の実施体制

環境部門ワーキングチームにおいて、毎月、取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

ワーキングチームの責任者は 常務理事とする。